

11 月 8 日 : VN 指数は失速 (VN-Index -0.57%)

- 昨夜 FRB により再び 0.25%の利下げが発表されたにもかかわらず、VN 指数は寄り付き後は徐々に下落し始めた。
- 不動産、銀行、資本財・サービスセクターの下落が響いた。
- 後場に入ると新たな買い方の動きがみられたものの、指数を押し上げるほどの強さはなく、引け間際にさらに下落幅を拡大して本日の取引を終えた。
- 不動産、銀行セクターには引き続き売りが集中し、さらに食品・飲料セクターにの下落も大きく影響した。
- 125 銘柄が上昇、254 銘柄が下落、62 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 11.2%上昇し、13.9 兆ドンとなった。

VN30 指数は相場全体の重しに (VN-30 -0.70%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、4 銘柄が上昇し、24 銘柄が下落。2 銘柄が変わらずとなった。
- VHM (-3.38%)、CTG (-1.69%)、VIC (-1.56%)の下落が大きかった。
- BVH (+2.85%)の上昇が特に目立った。

セクター・個別株の動き

- VHC (+2.90%)は未分配利益から 20%の比率で現金配当を行うことを明らかにした。基準日は 12 月 6 日、支払予定日は 12 月 18 日と設定した。
- TDM (-0.40%)は 2024 年 10 月の水供給の総量が 56,629 立方メートルに達したと発表した。これにより同社の売上は 4,635 億ドン（前年同月比-6%）を記録した。
- 外国人投資家は 1.16 兆ドンを売り越した。売り越しは引き続き CMG (+1.32%)、VHM (-3.38%)、MSN (-1.36%)に集中した一方、買い越しは銘柄ごと分散した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。